

Tidal Transaction Analyzer : TA_PERF_USER_TRANS_COUNT テーブルの 空白トランザクション

目次

[概要](#)

[前提条件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[表記法](#)

[解決策](#)

[関連情報](#)

概要

TA_PREF_USER_TRANS_COUNT テーブルには、ブランクのトランザクションまたは tcode_id=1 のトランザクションが含まれていることがあります。

前提条件

使用するコンポーネント

トランザクション Analyer Tidal な (TTA) バージョン 1.9 または それ 以降

このドキュメントの情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されたものです。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、クリアな (デフォルト) 設定で作業を開始しています。ネットワークが稼働中の場合は、コマンドが及ぼす潜在的な影響を十分に理解しておく必要があります。

表記法

ドキュメント表記の詳細は、『[シスコ テクニカル ティップスの表記法](#)』を参照してください。

解決策

これらのトランザクションは標準で、ブランクとして出て来るか、または TA データベースで無効にします。

以下はこれに関係します:

- それらはログオン アクティビティ、背景ジョブ、または RFC 詳細のどちらである場合もあ

ります。顧客はチェックし、どのプログラムがであるかを見つけるために会計監査報告を送ることができま実行され、ブランク t コードを報告します。

関連情報

- [テクニカルサポートとドキュメント - Cisco Systems](#)